

## 合同商談会・北上会場に294社、460人が参加



平成20年度の合同商談会・北上会場を10月23日に北上市・ホテルシティプラザ北上で開催しました。

今年度は参加企業数が発注64社、受注230社と昨年並みの企業数となり、商談件数も1,018件にのびりました。

また商談会を機会に県内受注企業を視察した発注企業も11社と例年より多く、今後の折衝経過に期待が持たれます。

## 下請取引改善講習会開催のご案内

この度(財)全国中小企業振興協会の主催により、下請取引適正事業の一環として、下請代金遅延等防止法をはじめとする関係法令等の普及を図ることを目的に「下請取引改善講習会」を下記により開催いたしますのでご案内いたします。

### 開催概要

- 【開催日時】平成20年12月4日(木) 13:30~16:30
- 【会場】「ホテルルイズ」盛岡市駅前通7-15 電話:019-625-2611
- 【受講費用】無料(但しテキスト代として2,000円負担いただきます)
- 【募集人員】80名(申込締切11月25日 ※締切前でも定員になり次第締切ます)
- 【申込先】(財)全国中小企業振興協会 03-5541-6688 担当:仁平、工藤



## コツコツと着実に!

総務・金融グループ  
鎌田 洋平

日本にうれしい知らせが届いた。今年のノーベル物理学賞が、米シカゴ大名誉教授の南部陽一郎氏、高エネルギー加速研究機構名誉教授の小林誠氏、京都産業大教授の益川敏英氏に贈られるということだった。さらには科学賞に下村脩氏が決まり、2003年から途絶えていた日本人のノーベル賞受賞者は一気に16人となった。金融不安による世界同時株安など暗い話題が多いなか、久しぶりの明るい話題であったように思う。

南部氏は質量の起源を解明する理論の基礎をつくり「小林・益川理論」に引き継がれ、その理論は後に加速器の実験結果で証明され、現在では素粒子物理学の標準理論として受け入れられているという。理系音痴である私はその辺の事情には詳しくないが、基礎研究といえば実験などで長時間拘束され、かなり息の長い地道な努力が求められることは想像に難くない。応用重視の風潮のなかにあつての今回の受賞は、コツコツとやり続けてきた結果が花開いた本当に価値のある素晴らしいことであると思う。

企業経営や産業振興に関しても、基礎研究に通ずるものがあるのではないだろうか。地道に積み上げてきたものが、後になって思わぬ成果を生むことになる。

当センターでは、県内の産業振興を図るため、創業支援、企業や人材の育成支援、新産業や研究開発の支援など様々な支援を行っております。派手さはないがコツコツと県内の産業振興のために活動していきたいと思っております。